



八 剣 山 通 信



第88号

八 剣 山 発 見 隊
2009年7月12日 発行

7月11日(土)

「いちごの苗床整理体験 2009」を実施しました。

【行事の概要】

今年の春は平年より暖かく、4月から5月にかけて八剣山の周辺は、桜の花、さくらんぼやりんごなどの果物の花が、ピンクやまっ白な花を咲かせていました。

いちごの花もそれらの花に誘われるように、5月の下旬頃から花を咲かせはじめていました。

しかし6月に入ると、曇りや雨の日が続き太陽がなかなか顔を出す日がなかったためか、いちごが赤く熟するのがいつもより遅くなった感じがします。

やっと6月終わり頃になってから一部の果樹園において、露地もののいちごの収穫がはじまりました。7月上旬には、いちごを栽培している果樹園では、いちご狩りの真っ最中の時期となりました。

本来であれば、いちご狩りもほぼ終了に差ししかかっており、いちごの苗床も遅くなって赤く熟してきたいちごや、小さめのいちごを収穫しながら、腐り始めたり鳥につつかれて穴のあいたいちごを整理して、食べられるいちごを7月12日に開催する「2009 八剣山さくらんぼ祭り」で、いちごジュースとして販売する予定でした。

このような事情から、今回は日程を1週間遅らせて豊平川ファーム、八剣山果樹園及び砥山ふれあい果樹園のご協力をいただきながら、いちご狩りが終了に近づいている畑の苗床を整理して、八剣山さくらんぼ祭りにおいて販売するいちごジュース用のいちごと、今回参加される皆さんのお持ち帰り用のいちごを収穫することとしたところです。

・主 催：八剣山発見隊

【今回の行事開催場所】

アクセス・マップ

札幌中心部より車で約40分



【行事の感想】

いちごの苗床の整理は3箇所の園地において行いましたが、ほとんど収穫されていちごが残りに少ない園地や、まだ大粒のりっぱないちごが残っている園地がありました。

たくさんのいちごが残っている園地では、いちごが勿体ないと言いながら、皆さん夢中で摘み取りしていました。

いちごの苗床整理(いちごの収穫?)には、10名を超える隊員の協力があり、2時間ほどで翌日のさくらんぼ祭りにおいて販売することとしているジュース用のいちごを十分に確保することができました。

収穫したいちごは、砥山ふれあい果樹園において洗い、ヘタを取り除いて、小さめのビニール袋にグラニュー糖をまぶして詰め込み、冷凍庫で保管しました。

本来であれば、いちご狩りの時期が終了したあとの畑は、いちごが残っていても収穫されることはなく腐れてしまうのですが、今回の作業において一部のいちごがジュースとして再生され、翌日開催される「八剣山さくらんぼ祭り」の人気メニューとして、来場する皆さんに提供されることとなったことは、地域活性化に向けた一歩前進です。



【収穫したいちごの選別作業】

【今後の行事予定】

・7月12日 2009 八剣山さくらんぼ祭り

発行：八剣山発見隊 (事務局長 瀬戸 修一)

061-2275 札幌市南区砥山84番地

TEL&FAX 011-596-2694

E-mail setsyujp@ybb.ne.jp

http://www.hakkenzan.com/

いちごの苗床整理体験 2009



【 5月下旬に咲き出したいちごの花 】



【 6月中旬の赤くなりだしたいちご 】



【 いちごの葉で覆われた苗床の整理 】



【 作業の合間にしばしの休息 】



【 収穫したいちごのヘタ取り 】



【 いちごとグラニュー糖をまぶして 】

